



HVC ビデオニュース (11月号)

八王子ビデオサークル 代表 野上 五十満

2020.11.4

こんにちは皆さん、今日は11月3日文化の日です。今年も叙勲受章者が新聞に掲載されている。私の友人にそういう受章者が居ると言ったら驚かれるかも知れないが事実である。柔道部の仲間だからツアーという関係です。一緒に柔道部顧問の先生のお葬式や先日は10回忌のお墓参りにも行って来た。言っておくけど友達はお金では買えないからね。人生の友というのは大事にした方がいいね(笑) 最近自作の掛軸を友情贈呈した。



さて、今回取り上げるのはパソコンの話です。パソコンが好きか嫌いかでお人柄が分かります。好きな人は時代の最先端を走らなければ気が済まないたちです。特にメディアの変遷には悩まされているはず。どんどん人と関係なく進化するね(笑) 一昨年買ったパソコンはPCデポというところからだ。Bizネットの仲間の紹介で購入した。そこにリマール HDD/OW40EFRX-RT2 パソコンの電源を切ることなく、ドライブの交換が可能なドライブが2つ付けてもらった。私はSanDiskのSSDソリッドステート

500Gと1Tの二つを利用している。添付書類参照。オウルテック OWLTECH 社製の4,000円×2で付属できた。



今ではこのSSDメディアはビデオ編集には無くてはならない存在になっている。導入した時にはHDDの2.5インチが付かるからいいね、くらいに思っていたが、ところがどっこい、時代は急速にHDDからSSDに変わる真っ最中であったのだ(笑) 従って私はBizネットのマシン導入の見積書と全く同じ形で購入出来た事に感謝している。このSSDはマシンに挿入しても使えるし取り外しをしてATEM MINI ISOの録画用に重宝している。大切なことはウィンドウズとマック両方に使う為にフォー

マットをexFATで行う事だ。これによって編集ソフトもFCPXでもEDIUSでも両方に使える。どんどん容量が求められる時代に移りつつある。というのはATEM MINI PRO ISOで全カメラ録画機能を使うと6系統の音声と4系統の映像を別々に同時録音が可能なのだ。そうするとFHDで2時間~4時間と録画するととても大きな容量になるのは間違いない。ISOちゃんには2つのメディアが同期できる撮影モードある。ブラックマジックの機材は本場ハリウッドに納める会社だけあって鋭いね。SDIケーブルでの映像伝送もライブ配信と相まって需要が高まる。接続方法で直付けとUSB端子+C端子コネクタでは速度が半減する。USB Type-Cでの直付け接続をすすめる。最後に買ったATEM STREAMIN BRIDGE (SDI=HDMI接続)の納品も1ヶ月を要した。これからも商売繁盛が伺える。それとサポートの方 (YouTubeの岡野さん) から対応電話があったのに驚いた。